



北区観光振興プラン2023

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度 概要版

I 北区観光振興プラン 2023 の基本的な考え方

北区観光振興プラン改定の目的と意義

かつて北区飛鳥山を時代の「始動」の拠点とした渋谷栄一は、「国が豊かになるためには、経済発展の利益を独占するのではなく社会に還元することが大切である」などの示唆に富んだ経営理念を多く唱えられてきました。

北区が誇るゆかり深い渋谷栄一が求めた経営の理念を観光振興に重ね、北区に住む人々や北区に関心を寄せる人々の暮らしぶりに、やすらぎや楽しみ、躍動感などを与えるシーンを創出することを目指します。

「北区観光振興プラン改定の目的」

- 前プランの計画期間の終了に伴う、次のステップに向けた観光の推進
- 北区観光に関するさらなる情報発信力とプロモーションの強化
- 新型コロナウイルス感染症等の影響やデジタル化をはじめとする社会環境の変化に対応した北区観光振興の展開
- 北区の特色を生かした観光事業の持続的かつ効果的な推進への導き

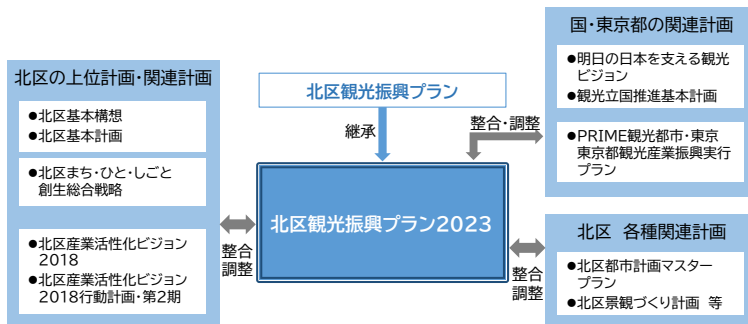
渋谷栄一の経営理念を重ねた観光振興

「北区観光振興プラン2023の方向性」

前観光振興プランの基本的な考え方と特徴を継承しつつ、**持続可能な観光の推進に向けて、北区観光の経営力強化などの新たな展開を加えた実効性のある観光振興プランとする。**

本プランの位置付け

本プランは、北区が目指すべき将来像を示す「北区基本構想」や「北区基本計画」を上位計画とする観光分野の個別計画と位置づけられます。また、これまでの北区観光振興プランを継承するとともに、「北区産業活性化ビジョン 2018」及び国や東京都の観光に関わる計画との整合を図り、持続可能な北区観光を振興する方向性や考え方を示す計画です。



本プランの計画期間

令和 5(2023)年度～令和 9(2027)年度の 5 年間

令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
北区観光振興プラン 2023				

本プランの目標

これまで取り組んできた「STEP①：愛着と誇り・こだわりの持てる舞台づくり、ふるさと意識づくり」、「STEP②：地域の観光的魅力の向上と観光交流の促進」を基盤として、3つのステップの最終目標である「STEP③：定住人口増加をめざした総合的な地域活力の向上」を目標として関係人口や交流人口の増加を目指します。

【STEP③】定住人口増加をめざした総合的な地域活力の向上
～北区の地域活力を高め、住む人を増やそう！

最終ステップ
最終目標

【STEP②】地域の観光的魅力の向上と観光交流の促進
～地域の魅力を磨き、観光振興に活かそう！

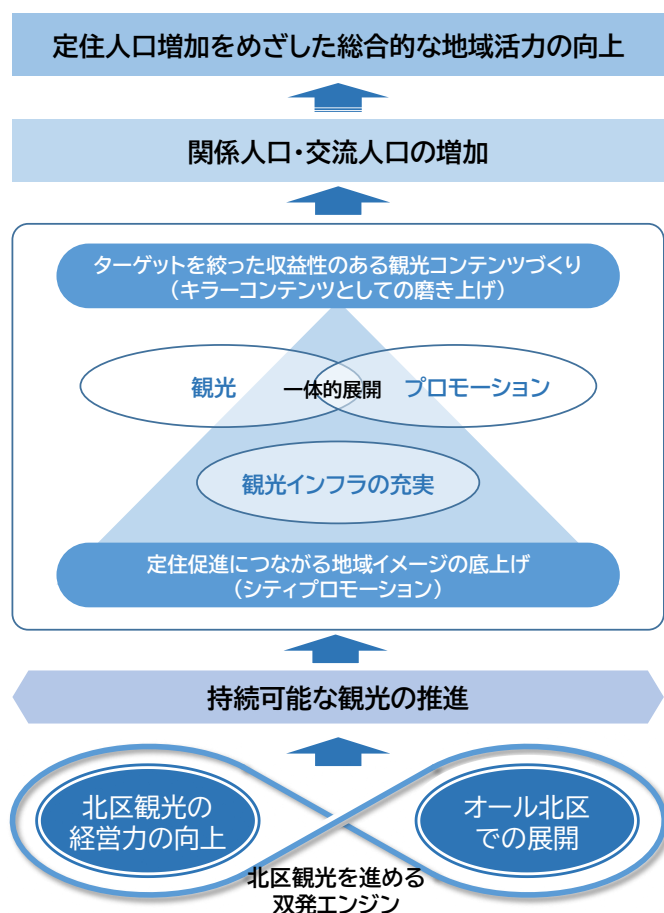
後期

【STEP①】愛着と誇り・こだわりの持てる舞台づくり、ふるさと意識づくり
～観光振興を通じて、北区に対する愛着や誇りをさらに高めよう！

前期

本プランを進めるための基本的な考え方と進め方

- 「北区観光の経営力の向上」と「オール北区での展開（公民連携・公公連携）」を双発エンジンとした事業推進
- 観光とプロモーションとの一体的な展開
- 収益性のある観光コンテンツづくりと地域イメージ向上につなげるシティプロモーションへの対応
- 観光インフラとしての受入れ環境の充実
- 観光を通じたSDGsへの対応



北区にゆかりの深い渋谷栄一は、『未来の東京戦略』（東京都（令和3（2021）年3月）において、2人の偉大な先人として後藤新平とともに取り上げられています。

北区観光の今後の取り組み課題

- ◆これまでの取り組みを踏まえたさらなるステップアップ
- ◆北区観光のイメージを活用した積極的な情報発信及び戦略的なシティプロモーションの推進
- ◆北区の特徴や地域資源を活かした観光コンテンツの充実と磨き上げ
- ◆公民連携・公公連携の展開
- ◆北区観光の担い手となる実践者・サポーター・ファンを含めた人づくりの推進
- ◆来訪者の好印象につながる受入れ環境としての観光インフラの底上げ
- ◆これからの観光に求められる取り組みへの対応

Ⅱ 北区観光の基本戦略と施策の体系

「定住人口増加をめざした総合的な地域活力の向上」を目指して、北区観光の経営力を高めるための基本的な戦略(基本戦略)とその取組施策を設定します。



〔基本戦略 1〕

公民連携の強化による観光の推進 — オール北区による北区の観光力を高める

戦略 1-1 北区観光の連携体制と推進機能を整える

- 【施策】①公民連携・公公連携の強化
②区民の参加促進やファンコミュニティの醸成の仕組みづくり



戦略 1-2 北区観光の経営力を高める仕組みをつくる

- 【施策】①渋沢栄一の経営理念を重ねた北区観光経営の展開
②(一社)東京北区観光協会の事業推進力の強化への協力と役割分担

戦略 1-3 北区観光を担う多様な人づくりを推進する

- 【施策】①北区観光を担う人材発掘と育成／②観光に関わる人材育成
③観光推進サポーターの受入れ／④北区ファンの創出と獲得



戦略 1-4 ユニバーサルな観光を推進する

- 【施策】①アクセシブル・ツーリズム※の推進／②国際観光の推進

※アクセシブル・ツーリズム:障害者や高齢者等など、移動やコミュニケーションにおける困難さに直面する人々のニーズに応えながら、誰もが外出や旅を楽しめることを目指す取り組み



〔基本戦略 2〕

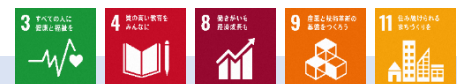
来訪者の受入れ環境が充実した観光の推進 — おもてなしある北区観光の環境を整える

戦略 2-1 北区観光の拠点をつくる

- 【施策】①駅周辺における観光拠点機能の充実／②公園や水辺を活用した拠点性の向上

戦略 2-2 観光インフラの充実

- 【施策】①来訪者が利用しやすい環境整備／②回遊を促す二次交通の充実／
③わかりやすく効果的な情報発信の展開／④観光危機管理への対応



〔基本戦略 3〕

誘客力を高める観光の推進 — 北区ならではの観光コンテンツの充実

戦略 3-1 「北区」ならではの多様なテーマで地域の魅力を編集する

- 【施策】①五感と季節の変化を楽しめるプログラムづくり／②水辺を楽しめるプログラムづくり
③暮らしや文化・スポーツを楽しめるプログラムづくり
④産業遺産を楽しめるプログラムづくり
⑤継続的な観光マーケティングによる新しいプログラムづくり



戦略 3-2 ターゲットを絞った観光コンテンツを創出する

- 【施策】①戦略的な北区観光の推進
②北区観光の特徴を活かしたターゲットごとの戦略的なコンテンツ開発
③収益性の高い観光コンテンツづくり



〔基本戦略 4〕

ネットワーク型の観光の推進 — 観光コンテンツをつなぎ、めぐる観光を促進する

戦略 4-1 区内の資源をつなぎ、回遊を促す

- 【施策】①駅や公園を核とした回遊の促進／②商店街と連携した観光の展開
③ウォーカブルな観光の推進

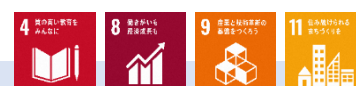


戦略 4-2 ゆかりのある地域と北区をつなぐ

- 【施策】①近隣区の観光資源と連携した広域観光ルートの開発
②ゆかりのある地域との連携

戦略 4-3 産業と観光をつなぐ

- 【施策】①商業による北区観光の魅力向上／②ものづくりによる北区観光の魅力向上
③食による北区観光の魅力向上



〔基本戦略 5〕

情報発信の強化による観光の推進 — 人の気を惹く北区観光の発信力を高める

戦略 5-1 訴求力のあるコンテンツの充実と効果的なプロモーションを推進する

- 【施策】①区民向けの観光プロモーションの展開
②ターゲットを絞った観光プロモーションの展開
③多様な媒体を活用したプロモーションの展開

戦略 5-2 北区観光の情報発信力を強化する

- 【施策】①一元的な情報の発信／②情報発信拠点の充実
③相乗効果を高める情報発信



東京北区渋沢栄一プロジェクト
広報キャラクター しがさわくん



Ⅲ 北区観光を先導する重点戦略・プロジェクト

目標に向けて、北区観光を効果的かつ着実に推進していくため、基本戦略に基づきながら、より重点を置いて戦略的・先導的に取り組むテーマを「重点戦略・プロジェクト」として設定します

重点戦略 1 近代化産業遺産等を活用した観光の推進

「近代資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一の偉業や功績と、北区に残る価値の高い近代化産業遺産を活用し、様々な関係機関と連携した観光事業を推進します。

《具体的な取り組み》

○渋沢栄一をテーマとした観光の推進

大河ドラマ館のレガシーを継承した公民連携による「東京北区渋沢栄一プロジェクト」の継続展開／大河ドラマ館のレガシーを継承したイベントの開催／しぶさわくんのキャラクターの活用 など

○近代化産業遺産関連施設の観光活用の推進

近代化産業遺産を活用したプログラムの実施／洋紙発祥の地といわれる歴史のPRの実施／荒川知水資料館や旧岩淵水門の観光拠点化による水辺空間のエリアマネジメント／赤レンガフェスなど旧醸造試験所第一工場を活用したユニークベニュー※やイベントの開催 など

○平和遺構(軍事遺産)の観光活用の推進

平和遺構(軍事遺産)を巡る観光ガイドツアーの実施 など



※ユニークベニュー：歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。

重点戦略 2 水辺を活用した観光コンテンツの充実

都市空間から身近にある自然豊かな水辺を活用したイベントなどを通して観光コンテンツを充実させるとともに、水辺をオープン空間として活用促進し、観光拠点の価値を向上させていきます。

《具体的な取り組み》

○水辺を活用した身近なレクリエーションの促進

音無親水公園のライトアップの実施／音無親水公園川床イベントの開催 など

○河川敷の観光活用の充実

荒川河川敷の北区花火会の開催／「北・水辺ウォーク」の開催／ミズベリングによる水辺を活用したイベント(音楽・アウトドア)などの開催／ドローンテストフィールドの社会実験の展開／多様な主体による荒川知水資料館周辺や岩淵水門周辺のオープン化と活用促進 など

○河川の観光拠点としての活用や観光ルート化

荒川知水資料館を核としたエリア一体の観光拠点としての活用／荒川ロックゲート乗船体験と岩淵水門の観光ルートづくり／防災の価値や機能をテーマにした荒川知水資料館や旧岩淵水門のツアーの実施 など



重点戦略 3 公園やみどりの観光的活用の展開

飛鳥山公園など拠点性が高い公園を積極的に観光利用することで、公園という拠点環境の利用価値の向上と魅力づくりを推進します。

《具体的な取り組み》

○飛鳥山公園を活用した観光の推進

大河ドラマ館のレガシーを継承したイベントの開催／「渋沢翁のテーマパーク」化の展開／食や音楽をテーマとしたフェスの開催／旧渋沢庭園を活用したイベントの実施 など

○公園をつなぐ回遊観光の展開

音無親水公園のライトアップの実施／「桜ウォーク」の開催
公園を核とした周辺の回遊につながるガイドツアーの実施 など

○公民連携による公園の観光利用の展開

Park-PFI を通した観光活用の取り組みの展開／
民間事業者や団体などが公園を観光活用しやすくなる仕組みづくり など



重点戦略 4 鉄道や駅を核とした回遊の推進

北区の特徴的な資源である鉄道や駅を核として、区内のさまざまなエリアでの回遊を推進します。

《具体的な取り組み》

○駅からの回遊観光コンテンツの充実

駅を核とした観光ガイドツアーの実施／駅を核としたマップの制作と発信／
駅と連携したイベントの開催／JR 王子駅中央口壁面装飾を活用した情報発信 など

○東京さくらトラム(都電荒川線)の観光活用の推進

沿線4区や東京都交通局との連携による東京さくらトラムをテーマにしたプログラムの実施 など

○鉄道にフォーカスした情報発信とファン獲得

鉄道情報のライブ配信 など



重点戦略 5 ライフスタイルが魅力となる観光の推進

特徴的な文化、商店街や公園、トップアスリートが身近に活躍するスポーツ環境といった北区ならではのライフスタイルを楽しめる観光を推進します。

《具体的な取り組み》

○商店街をテーマとした回遊観光コンテンツの充実

商店街を回遊する体験プログラムの展開／
銭湯などの観光資源のPRの実施／まちバルイベントの開催 など

○暮らしや文化・スポーツをテーマにした回遊観光コンテンツの充実

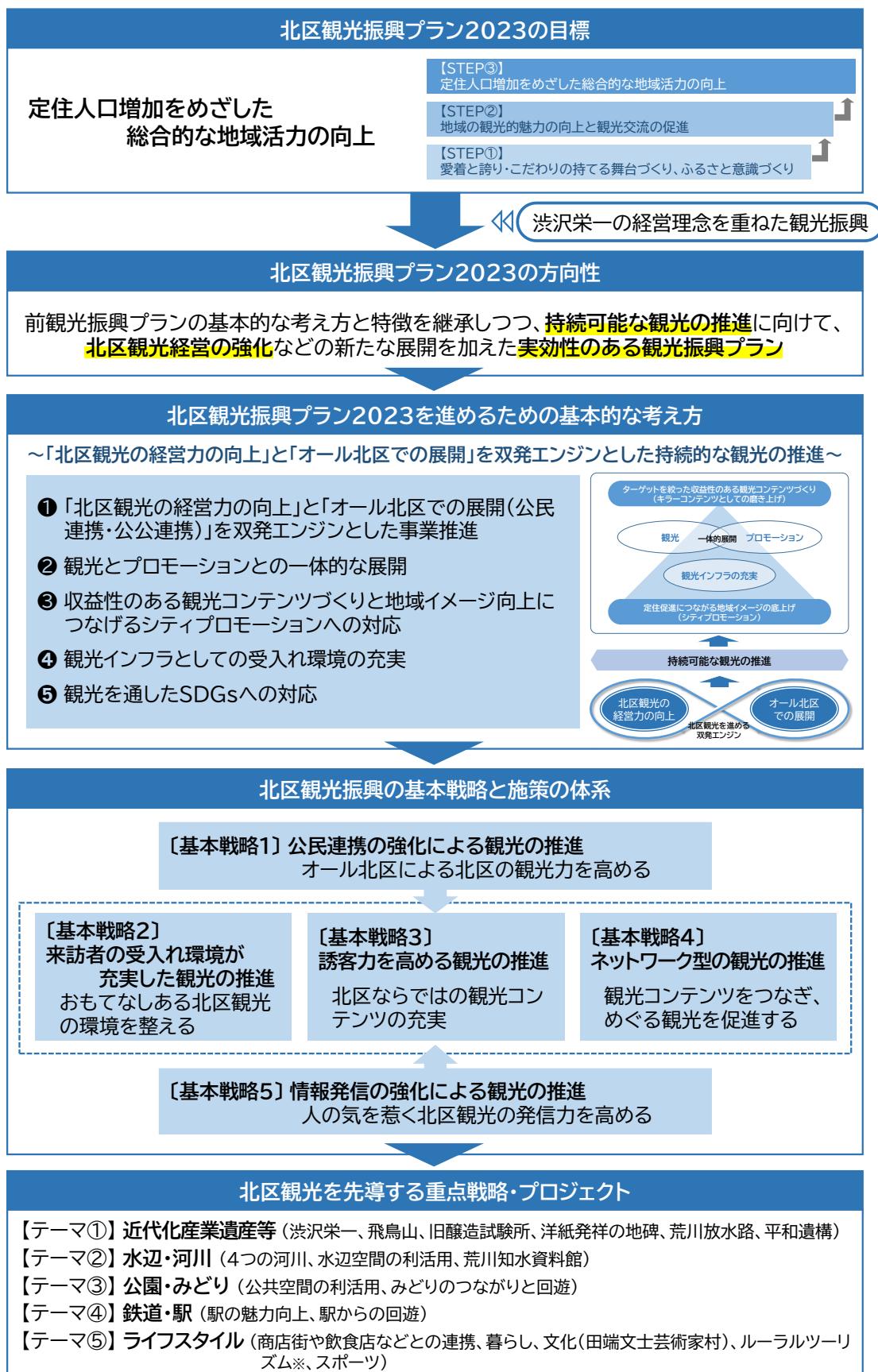
文士の歴史と“ハイソ”な暮らしぶりを体験するガイドツアーの実施／
(仮称)芥川龍之介記念館を核とした文化観光PRの実施／
スポーツイベントと連携した集客や回遊事業の展開 など

○身近な公園や河川を楽しむ観光スタイルの推進

公園や河川を拠点としたマルシェやマーケットの開催／ピクニックがしやすい環境づくり など



《北区観光振興プラン 2023 の目標と基本戦略・重点戦略の構成》



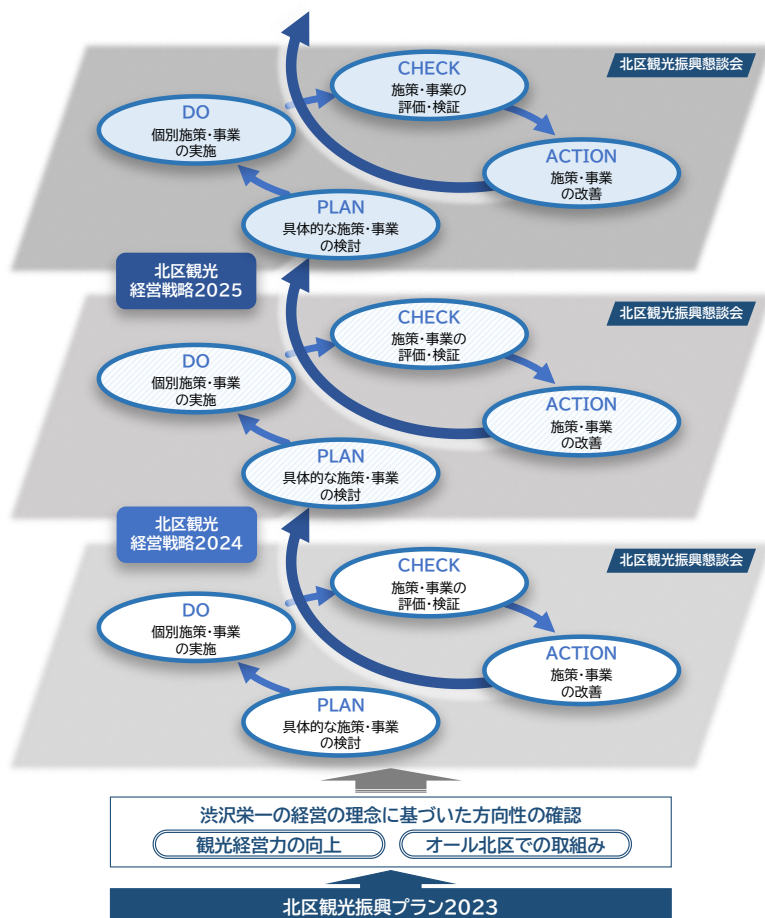
※ルーラルツーリズム：暮らしの中の身近な自然環境などの地域資源を活用して余暇活動を行うアーバンツーリズムの対語となる取り組み

IV 北区観光の推進・展開に向けて

北区観光の進むべき方向性の明確化

本プランに基づく観光事業を確実に推進するため、「北区観光振興懇談会」を継続的に開催し、実績にもとづく評価・検証を実施します。

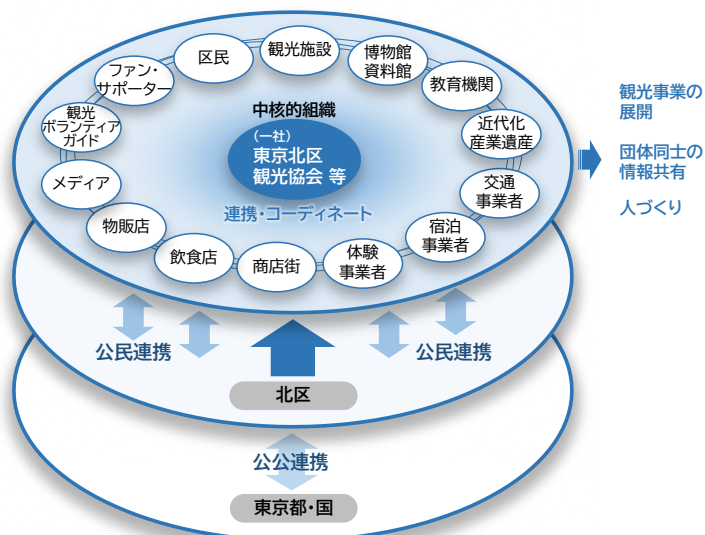
評価・検証においては、渋沢栄一の経営思考に基づいた“北区観光の経営力”と“オール北区”の視点からの評価検証を基本とし、5つの基本戦略に基づく目標値による評価検証と、今後の北区観光の経営戦略につながる提言を行います。この提言を基礎として、本プランの進化と深化につながる方向性を次期の観光力の向上に関する経営戦略として明らかにするとともに、その共有を図りながら実践していきます。



北区観光を推進するプラットフォームの形成

北区観光の推進に向けては、北区の観光振興をはじめとする商業振興、工業振興、文化芸術振興、近代化産業遺産、都市基盤整備、さらにはシティプロモーションなどのさまざまな分野の施策や事業を、「観光」を核とした総合的な地域づくりの視点に立ち、相互連携を図りながら取り組んでいくことが必要です。

そこで、(一社)東京北区観光協会が中核を担うことで様々な主体同士の結集を図り、観光施設や観光に関連する事業者、観光ボランティアガイドの会、区民などの多様な主体による北区観光をより推し進めていくためのプラットフォームの仕組みづくりを進めます。



これまでの北区観光振興プランの策定等の経緯

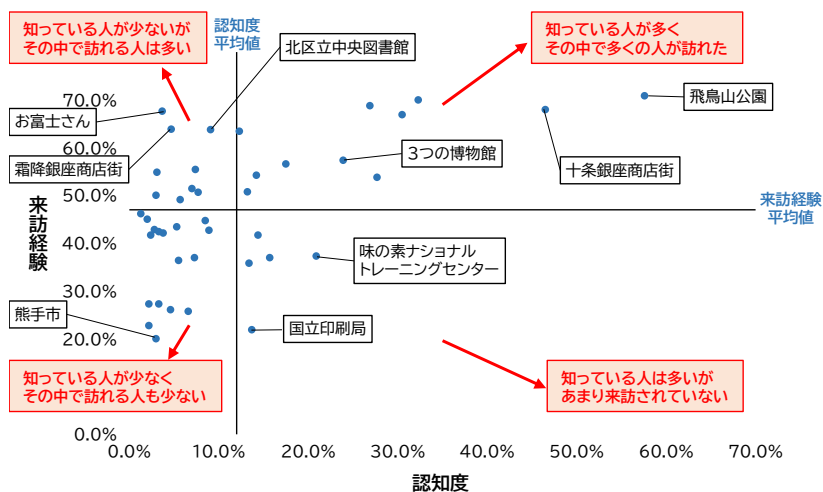
北区では、平成 27(2015)年 3 月、北区の観光に関する初めての行政計画となる「北区観光振興プラン」を策定しました。

その後、平成 30(2018)年 3 月に、プランの観光振興の取り組みを評価・検証するとともに、社会情勢の変化などを踏まえて重点的に取り組むべき項目を示した行動計画として、「北区観光振興プラン後期計画」を策定してきました。



来街者調査による北区観光の現状と変化

令和3(2021)年1月に実施した「コロナ禍の観光動向調査(WEB アンケート)」によると、北区のスポットやイベントの認知度は依然として全体的に低い中、「飛鳥山公園」や「十条銀座商店街」は、比較的に認知度が高く来訪経験も高いスポットとなっています。



※「コロナ禍の観光動向調査」(実施期間: 令和3(2021)年1月4日~5日)

北区観光振興プラン2023 概要版

令和 5(2023)年 3 月

発行:東京都 北区

編集:北区地域振興部産業振興課

〒114-8503 東京都北区王子 1-11-1 北とぴあ 11 階

電話番号 03-5390-1234

刊行物登録番号
4-1-141

